

地域社会の環境保全の取り組み、社会活動助成金、災害被害支援などに活用  
**2013年度「コープみらい社会貢献基金」より**  
**総額 3,445 万 4,715 円を拠出**

コープみらい（本部：埼玉県さいたま市、理事長：田井 修司、事業エリア：千葉県・埼玉県・東京都）は2013年度「コープみらい社会貢献基金」より総額3,445万4,715円を拠出しました。

「コープみらい社会貢献基金」は、コープみらいの理念に基づく社会貢献活動を積極的に発展させることを目的として創設しました。

2013年度は、森林環境整備・植林などの自然再生事業、社会貢献活動助成金（千葉県・埼玉県・東京都内で活動するNPO法人やボランティア団体などへの支援）へ基金を活用しました。また、埼玉県や千葉県で発生した竜巻被害のほか、フィリピン台風被害、伊豆大島土石流災害、関東甲信大雪被害の支援として災害義援金を送付しました。

コープみらいでは、基金の拠出による社会貢献活動だけでなく、助成金交付団体と組合員が参加する交流会も積極的に開催しています。交流会は、各団体による活動報告や組合員活動との連携について話し合う機会となり、それぞれの活動の輪を広めるきっかけ作りの場として活用されています。

コープみらいは、「CO・OP ともに はぐくむ くらしと未来」の理念のもと地域社会の一員として今後とも地域の他団体や行政と連携し、地域社会貢献を進めていきます。

コープみらい社会貢献基金の活用事例、社会貢献活動助成金・助成団体の活動交流会については次頁をご参照ください。

2013年度「コープみらい社会貢献基金」の主な使途・内容

使途	内容
社会貢献活動助成金	コープみらい事業エリアのNPO法人やボランティア団体、市民団体など、76団体への助成
災害義援金	伊豆大島台風26号土石流災害、埼玉・千葉県で発生した竜巻被害、関東甲信大雪による産直産地被害、フィリピン台風被害への拠出 など
地域社会の環境保全	「さいたま緑のトラスト基金」「彩の国みどりの基金」への寄付、コープみらい八街の森・秩父の森の環境整備、植林など自然再生事業への取り組み など
組合員活動と事業の環境保全	「エコプロダクツ2013」出展、各種環境イベントの開催 など
環境の施策	店舗での太陽光発電パネルの設置、バイオディーゼル燃料給油施設償却費

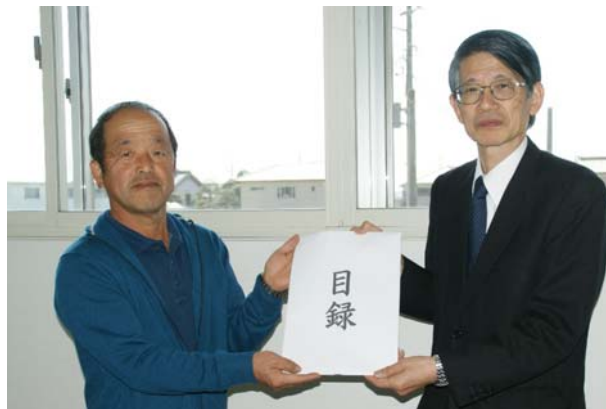
## － コープみらい社会貢献基金の活用事例 －

### ■関東甲信大雪被害産直産地への災害義援金の贈呈

2014年2月の大雪で被害のあった産直産地の一つである農事組合法人埼玉産直センターに、3月、「コープみらい社会貢献基金」から災害義援金を贈呈しました。

#### 埼玉産直センター 代表理事 木村 友一氏

「30年40年かけて作ってきたハウスが大雪の影響で一度につぶれてしまいました。生産者は本当に厳しい状況ですが、組合員の皆さんや取引先の皆さんからたくさんの応援をいただき、産直をやってきて本当によかったと思います。いろいろな人に期待され、私自身ももっといいものを作っていこうと思いました」



埼玉産直センター 代表理事 木村 友一氏(左)と、  
コープみらい 副理事長 佐藤 利昭

## － 社会貢献活動助成金・助成団体の活動交流会 －

### ■社会貢献活動助成金・助成団体の活動交流会

2014年4月にさいたま市で開催した社会貢献活動助成金・助成団体の活動交流会には、NPO・市民団体など40団体のほか、組合員理事も参加しました。7月にはコーププラザちば（千葉市）でも活動交流会を開催します。

#### 参加者の声

「交流会に参加したことで、自分たちの活動に直接つながっていない活動でも、活動の広げ方や他団体とのつながり方などを知ることができ、大きな刺激になりました」



活動交流会の様子

### 〈生活協同組合コープみらい 概要〉

ちばコープ、さいたまコープ、コープとうきょうは組織合同(合併)し、「コープみらい」になりました

【住 所】 埼玉県さいたま市南区根岸 1-5-5

【理 事 長】 田井 修司 (たい しゅうじ)

【組合員数】 304万人 (2014年4月20日現在)

【総事業高】 3,596億円 (2012年度の旧ちばコープ、旧さいたまコープ、旧コープとうきょうの合計)

【事業エリア】 千葉県、埼玉県、東京都

【ホームページ】 <http://mirai.coopnet.or.jp/>